

ひと足早く、夏のきらめきに出会う旅へ

一首都圏からすぐの好アクセス！海と温泉のまち「伊東市」特集一

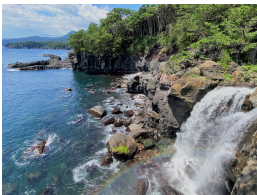
いよいよ本格的な夏の行楽シーズンが始まります。今回御紹介するのは、東京駅から電車で約2時間弱でアクセスできる伊豆半島屈指の温泉地・伊東市です。

温泉街としての魅力はもちろん、ダイナミックな自然、そして夏の夜を彩るイベントまで、この夏にぜひ訪れていただきたい伊東の2大スポットを詳しく御紹介します。

●火山と海が作り出したダイナミックな芸術「城ヶ崎海岸」

伊東市を代表する自然の名所といえば、富士箱根伊豆国立公園にも指定されている「城ヶ崎海岸」です。約4000年前に大室山が噴火した際、海へと流れ出した溶岩が、長い年月をかけて激しい波に削られることで、約9kmに及ぶ見事な断崖絶壁が生まれました。

この海岸の一番の見どころは、長さ48m、高さ23mを誇る「門脇吊橋」です。一歩足を踏み出すと、目の前には夏の青い海と鮮やかな新緑のコントラストが広がり、足元からは岩肌に白い波が打ち付ける迫力満点の景色が楽しめます。隣接する門脇埼灯台からは、伊豆諸島や天城連山までぐるりと見渡すパノラマが広がり、大自然のエネルギーを体感できます。



所在地：静岡県伊東市富戸

アクセス：【車】伊東市門脇駐車場（東名高速厚木ICから約2時間）

駐車料金は15分まで無料 以降、1日/500円

台数：123台

【鉄道】伊豆急行線城ヶ崎海岸駅から徒歩約35分

●天然の音響シアターで体感する「伊東温泉 海の花火大会」

伊東の夏を語る上で欠かせないのが、7月下旬からスタートする花火大会。その先陣を切るのが、7月24日以降、伊豆最多の14回にわたって開催される「伊東温泉 海の花火大会」です。

伊東の花火のルーツは、江戸時代にまで遡ります。江戸時代初期、徳川家康の外交顧問を務めたイギリス人航海士ウィリアム・アダムス（のちの三浦按針）が、伊東で日本初となる西洋式帆船を建造した功績を称えた「按針祭」が始まりとされています。今日では伊豆半島随一の規模を誇る「花火の街」へと発展しました。

会場一帯は、背後に天城連山が控え、海岸線が緩やかな半円形を描く「お椀型」の地形をしています。この独特な地勢が「天然の音響ホール」のような役割を果たします。海上で次々と花火が炸裂すると、その音は周囲の山々に反射して心地よい重低音となり、ダイレクトに体に響き渡ります。

コンパクトな時間設定ながらも、ギュッと凝縮された感動を味わえる「海の花火大会」。温泉街で浴衣に着替え、夕涼みがてら夜空を見上げる、そんな風情あふれる伊東の夏の特等席へ一足早く出かけてみませんか？



日時：7月24日（金）から8月29日（土）

会場：伊東オレンジビーチ（静岡県伊東市湯川～松原）※代表地点として

アクセス：【車】石橋ICから約60分

【鉄道】JR伊東駅から徒歩3分

[お問合せはこちら▶](#)

伊東市観光協会

☎0557-36-0111

“静岡県に住みかえる” 静岡県移住相談センター

令和7年度、静岡県への移住者数は前年比15.0%増の3,395人となり、6年連続で過去最多を記録しました。移住に関する相談件数も15,400件と過去最高を更新し、特に東京圏からの移住者は全体の64%を占めています。また、20代から40代の子育て世代など若い世代が全体の68%と、静岡暮らしへの関心が高まっています。

東京有楽町にある「静岡県移住相談センター」では、専門相談員が、住みたい地域や仕事探しをサポートしたり、各種支援制度の情報提供を行っています。

移住を具体的に考えている方だけでなく、静岡県の地域情報に興味のある方もお気軽に御利用いただけます。移住を検討されている方がいましたら、ぜひ静岡県移住センターを御紹介ください。

<施設概要>

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8F ふるさと回帰支援センター内
(JR有楽町駅徒歩1分)
開館時間：10時～18時/火曜～日曜（月・祝休）
電話：080-8017-1982
メール：shizuoka@furusatokaiki.net
※事前に予約していただくとお待たせしません



●イベント情報

■令和8年度第1回静岡まるごと移住フェア
静岡県内の自治体のほか、銀行や不動産業者、地域団体等60以上のブースが出展する、静岡県最大規模の移住相談会です。

来場予約者にはプレゼントもあります！
日時：令和8年7月25日（土）10時30分～16時30分
場所：東京交通会館12階ダイヤモンドホール
(東京都千代田区有楽町2-10-1)
※キッズスペースあり

移住・定住情報サイト「ゆとりすと」では、移住に関するイベントや支援策などを掲載しています。

詳細はこちら▼



お問合せ：静岡県暮らし・環境部企画政策課
(054-221-2610)

【8月2日（日）】東京発・スマートに夏を遊び尽くす！ 清水みなと祭り&駿河湾フェリークルーズツアー

駿河湾フェリーでは、「清水みなと祭り」の最終日となる8月2日（日）の夜、海上花火大会を間近から観覧する花火クルーズを企画します。

江尻埠頭に乗り場が移転してから初めてのクルーズです。是非ツアーに御参加いただき、清水みなと祭りを存分に楽しみませんか。

【ツアー5つの魅力】

1. 新幹線とセットでスマートに完結！「EX旅先予約」でフェリー乗船券も楽々手配
2. 昼は熱気の渦へ！港町が揺れる「港かっぱれ総おどり」の圧倒的存在感
3. 混雑とは無縁の特等席！駿河湾フェリーだけの「洋上贅沢クルーズ」
4. 息つく暇もない1万発！海面を染める「海上花火」と360度の夜景コラボ
5. 昼の熱狂から夜の贅沢へ。1日中感動が続く「極上の日帰り・週末プラン」



詳細はこちら▶

編集後記

4月に着任しました行政連絡班の鈴木です。東京事務所には所長含め、鈴木が3名在席しておりますが、私は事務所唯一の土木技師で主に要望活動が盛んな国土交通省を担当します。大学時代以来の10年ぶりの東京にワクワクしており、仕事はもちろんですが、プライベートも充実させたいと思っています。



主任
鈴木広樹

この2か月間を振り返ると、名刺交換の数は200を優に超えたことに驚くと同時に、多くの方々と出会うことができるここでの生活は、とても貴重な経験になることは間違いないと実感しています。諸先輩が繋いだ良き伝統を継承しつつ、新たな視点を加え、高い専門性を武器に、国と県の橋渡し役となり、県の課題を解決し「Well-Being 幸福度日本一の静岡県」を実現するために努めます。